

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第1回川西市 PTA あり方検討会	
事務局 (担当課)		社会教育課	
開催日時		令和元年7月20日(土)10時から12時	
開催場所		キセラ川西プラザ 文化棟 2階 多目的スタジオ A,B	
出席者	委員	野崎構成員、福本構成員、川原構成員、池内構成員、古谷構成員、秋葉構成員、大田構成員、山科構成員、大村構成員、熊手構成員、岡田構成員、高月構成員、小和田構成員	
	その他	越田市長、石田教育長、坂本教育委員	
	事務局	若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、岸本教育総務課長、高橋学校教育課長、喜多川こども未来部参事(幼児教育保育課担当)、大屋敷社会教育課長、井関社会教育課長補佐、田中社会教育課課員	
傍聴の可否予定		一部不可	傍聴者数 11人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		議題において、会議公開・傍聴要領の承認を得た後でなければ傍聴ができないため。	
会議次第		1.開会 2.教育長あいさつ 3.委員・事務局自己紹介 4.川西市 PTA あり方検討会の設置について 5.議題 (1)座長・副座長の選出について (2)「川西市 PTA あり方検討会会議公開運用要綱」及び「川西市 PTA あり方検討会の会議公開に係る傍聴要領」について (3)川西市の PTA 活動の現状について (4)川西市の PTA 活動の課題について (5)課題解決に向けた検討について 6.次回以降の開催について 7.その他 8.閉会	
会議結果		審議経過の通り	

## 審 議 経 過

	<p>【開会】</p> <p>— 資料の確認 —</p> <p>— 教育長挨拶 —</p> <p>— 構成員自己紹介 —</p> <p>— 教育委員会・事務局職員紹介 —</p> <p>— 川西市 PTA あり方検討会の設置について — 事務局から資料 1「川西市 PTA あり方検討会の設置について」及び資料 2「川西市 PTA あり方検討会設置要綱」に基づき、検討会設置の目的、位置づけ、役割、今後の動き、構成員、座長・副座長などの説明。</p> <p>— 座長・副座長選出 — 座長に野崎構成員を、副座長に福本構成員を選出</p> <p>— 「川西市 PTA あり方検討会会議公開運用要綱」及び「川西市 PTA あり方検討会の会議公開に係る傍聴要領」について — 事務局から資料 3「川西市 PTA あり方検討会会議公開運用要綱」、資料 4「川西市 PTA あり方検討会の会議公開に係る傍聴要領」に基づき説明し、承認。</p> <p>(運用要綱及び傍聴要領の決定により傍聴者入場)</p> <p>(事務局提案により市長挨拶)</p>
座長	議題(3)川西市の PTA 活動の現状について、事務局より説明をお願いする。
事務局	(事務局から資料 5 に基づき川西市の PTA 活動の現状について説明)

座長	<p>事務局から PTA の活動は時代の変化により様々な課題が生まれているとの説明があった。</p> <p>(構成員には) PTA の活動内容や課題などについて、経験や考えを紹介してほしい。</p>
構成員	<p>PTA 連合会は各団体と協調し、話し合いを進め、川西独自の PTA のあり方を検討しようと思っている。具体的には教育委員会、学校、各校 PTA、各地区のコミュニティ、高等学校、青少年育成の活動をしている団体に足を運び、PTA の現状と団体の現状を話し合い、PTA は今何をしなければならないのかを考える時間を持つようとしている。</p> <p>内部的には個人情報の問題に取り組んでいる。3 年前に個人情報保護法の一部改正があった。法の順守は徹底していかなければならないため、個人情報の取り扱い方を基本に、入・退会届のひな型を先日提示した。</p> <p>従来 PTA 連合会では学びの場として年間 7 回ほど講演を行っていたが、3 分の 1 程度に減らし、その募集についても基本的に動員ではなく自由参加とした。また、先日の講演では地域の方にも案内をしたところ、たくさんの地域の方に来てもらった。</p> <p>役員数の削減については、経験者を募り経験者にもう一度役員になってもらい、新しい役員を募集しなくてもよいという削減の仕方を試みている。</p> <p>このように時代に合わせた形をめざしている途中である。</p>
構成員	<p>単位 PTA は仕事のスリム化に向けて頑張っているが、1 年で役員が変わってしまうため、急に何かを変えることができず、今まで来ている。市長に問題を発信してもらい、たくさんの方が関心を持ってくれるようになり、ありがたいが、一方で焦りもある。急がないといけないと単位 PTA はみんな思っている。</p> <p>PTA 連合会でひな型を作ってもらい、説明してもらおう中で、単位 PTA 同士の横のつながりができているのを非常に感じている。</p> <p>関心を持っている人が増えたとも感じるが、反対に無関心な方も非常に多い。コミュニティの方がどれだけ子どもたちのために活動しているのかなど、PTA に関わっている人たちは PTA の大切さがわかるが、無関心な人たちはそうではない。無関心な人たちに、興味を持ってもらうために、どのようにすればよいのかなど、各学校は頭を悩ませている。</p>

<p>構成員</p>	<p>学校としては、教職員で手の回らないところなどへの PTA の支援はありがたい。</p> <p>登下校の子どもの安全についても PTA があるため、安全確保がなされているのだと思う。また、学校行事への協力についても改めてどのようなところでどのような支援を PTA からいただいているのか、学校としても考えていかなければと思っている。</p> <p>以前から子どもの健全な育成に関しては、学校と家庭が両輪となり、地域の協力をいただいて進めていくことが大事であると言われているが、これを推進していくためには PTA の存在、継続可能な PTA づくりは大事なことだと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>学校は、PTA に、学校生活の安全や教育環境の改善などを助けてもらいたい。また、地域にも様々な行事や見守りなどで子どもたちを育ててもらっており感謝している。</p> <p>しかし、学校側は今までそれらが当たり前のような気持ちでいたのではないかと思う。PTA に入らないという声があり、また、子どもたちが減少していく中で、PTA が同じような活動をしていくことは大変なことである。学校は、活動してもらうことが当たり前という考えを変えていかなければならない。そのような中で、子どもを中心に置き、これからの活動をどのようにしていけばよいのかということと一緒に考えていくことが大事だと考えている。</p>
<p>構成員</p>	<p>先ほど講演会をするにあたり、動員をかけていたのを今回は地域に周知したという話があったが、そこが大事だと思う。家庭だけで子どもを支えるのは非常に難しくなっており、地域で支えなければならない状況があると思う。昔は地域の子どもはうちの子という感じで、みんなで育ててきた時代があったが、今はそれが難しい状況である。</p> <p>一方で、ここ何年か PTA と地域が付き合うことの難しさを感じている。コミュニティで行事をする時に大勢の子どもが参加してくれるため、PTA に手伝いの要請をする。恒例になっている行事はよいが、新たに何かをしようと思って応援をお願いしても、「一年前から係も決まっているため、手伝えない。」と言われる。PTA は年間行事の係りをきっちり立てておられ、そこに地域が入っていく余地がない。手伝いの言葉を口にするだけで PTA が後ずさりされる。どのようにして PTA と仲良くしていけばよいのか非常に迷っている。私の地域だけかもしれないが、相対的に PTA には気を使っている。</p>

座長	<p>そこで、保護者という位置づけについてだが、その中に地域も入れていただけたらと思う。地域には、元気な年寄りが大勢いるため、その方たちも保護者という位置づけにいただけたら名実ともに地域で子育てが進められていくのではないかと、最近は思う。</p> <p>P（保護者）にしても T（教職員）にしても C（地域住民）にしても状況が大きく変わっているということをご説明いただいたと思う。</p> <p>ただ、共通しているところは、子どもたちのために何ができるかという思いを大切にして、PTA のあり方を考えていこうというところは共通認識とさせていただいてよいかと思う。</p>
構成員	<p>私の地域は逆に、PTA と地域、学校が連携して仲良くやっている。PTA 側の声を聞いても、先生の話も聞いても続けていきたいという声である。これには地域性があると思う。地域と学校がうまくやっているとところは、当然 PTA の方も同じように見ていると思う。地域性によって色々なことがあるということだけ少し知っておいてほしい。</p>
座長	<p>議題の(4)「川西市の PTA 活動の課題について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局から資料 6 に基づき川西市の PTA 活動の課題について説明。)</p>
座長	<p>事務局の方から資料 6 について、課題及び優先順位の説明があった。資料 6 であるが、(1) (2) (3)については一括して第一優先という説明であった。</p> <p>今の事務局の提案について、意見・質問があればお願いしたい。</p> <p>先ほど構成員からも説明があった内容とほぼオーバーラップしていると理解し、事務局から提案のあった(1) (2) (3)について第一優先課題ということでこの後審議をさせていただきたいと思う。</p>
構成員	<p>PTA が今のような形態になってしまっている理由を説明させていただきたいと思う。</p> <p>川西市はサラリーマン世帯が多く、PTA の組織を運営しようと思うと保護者、母親にゆだねざるを得ない現状があり、ほぼ女性で構成されている PTA 組織が何年も続いている。</p>

<p>構成員</p>	<p>母親は非常に熱心に PTA 活動をし、自分の代で地域と切れてはいけないと頑張った結果、組織を運営しようとするルール作りを厳しくせざるを得なかった。それが毎年少しずつ上積みされていった。決してこの内容がよいとは思っていないが、そういう経緯で PTA の特殊な形が生まれたことを理解いただきたい。</p> <p>もう一つは、PTA をボランティアと言う方が多くいる。先日、新聞で、PTA は「ボランティア」と書かれていたが、私はボランティアではないと思っている。地域の活動もボランティアではないと思っている。もっとレベルの高い意識を持った活動でないといけないと思っている。川西市に、もしボランティアというような考え方が根強く存在するのであれば、そこを打開しないと、またこういう形になってしまうと思う。ぜひ、「あり方検討会」で原点から考えていただくような話し合いが行われることを望んでいる。</p> <p>任意加入と個人情報と会費について、優先順位の 1 に上がっているが、PTA 連合会の活動として、そこに着手している。各 PTA の代表との会議の中で「入会届」と「退会届」、学校と会費の徴収について委任契約を結ぶ「委託契約書」の案を作成し、提示させてもらった。単位 PTA は任期が 1 年で、一斉に役員が入れ替わってしまうため継続的な意見や活動が難しい現状がある。一方で、PTA 連合会は会長、専務、常務など、複数年に渡る経験者で構成されており、長期的な視点で見た意見を反映しやすいため、PTA 連合会の方から案を提示させてもらった。</p> <p>今、各校の PTA はリスクにさらされたまま運営を続けている。世間や保護者からの批判が強まってきている中、役員を引き受け、少しでも変えようと頑張っている方を応援していかなければならないと PTA 連合会では考えている。安心して PTA 活動ができるということが基本であると思っている。PTA 活動自体は素敵なことであるが、「強制」ということだけで、活動自体を全否定されてしまうのはもったいないことだと思う。後ろ指をさされない組織にするため、川西市の PTA として「入会届」の導入に向けて頑張っていきたい。</p>
<p>構成員</p>	<p>公立の幼稚園は在園児数が減っており、規模が小さくなってきている。昔は公立の幼稚園と言えば、働いていない保護者の子どもが入るというイメージだったが、今は預かり保育などもあるため、働きながらも公立の幼稚園に通わせることができる。その中に PTA があるため、働いている保護者も対象者になる。</p>

<p>構成員</p>	<p>幼稚園の PTA は働いている保護者がたくさんいる中で、幼稚園単位で運営をしているため、幼稚園の行事は簡素化しながらできることだけをやっている。したがって、幼稚園活動が負担になっていることはあまりなく、PTA を負担に感じてはいない。川西の公立幼稚園はどれもそのような感じになっている。</p> <p>ただ、阪神間の総会や、県幼 P の総会に出席しなければならないなど、外への仕事がたくさんあることが負担である。この負担が今後見直せたらよいと思っている。</p> <p>幼稚園で PTA は任意加入と保護者へ言っても加入してくれると思う。なぜなら、幼稚園での活動は子どもたちに非常にためになっているからである。</p> <p>ただ、小学校の PTA には嫌悪感のようなものを感じており、小学校の PTA は大変というイメージがある。PTA は何の仕事をしているのかと思う。</p> <p>小学校、中学校の PTA も任意団体で任意加入だと言うのであれば、加入しなかった場合にどのようなことが起こるのかということもきちんと明記しないと問題が出てくると思う。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校は全然違う。幼稚園単位で直接園児にというのが幼稚園で、小学校に入ると地域や学校行事が入り規模も大きくなるため、嫌悪感があるのかなと思う。先ほど「新しい何かをしようと思っても拒否される」とあったが、その理由はやりたい人がやっているわけではなく、くじ引きで当たった人や、無理やりやらされている人たちがベースで、その人たちが新しい仕事をすると拒否感を持つのは仕方ないと思う。それが任意加入となると拒否感もなくなるのではないかと思う。</p> <p>現在、単位 PTA は、非会員が増え過ぎた時のことを考えている。非会員が増えることは、単位 PTA の総務が悪い、学校が悪い、地域が悪いということではなく、保護者が非会員になることを決めたということであるにも関わらず、どこの単位 PTA も責められるのではないかと不安がある。加入届を取るということは規約も変えなければならないなど、単位 PTA としては急がなければならないと、焦りがある中、PTA 連合会からすばらしいひな型を出してもらい、ありがたいと思っている。</p> <p>役員は一年で変わるため、うまくいっている PTA も次の役員次第で変わってしまうこともある。今まで、やる気のある人たちばかりでやって</p>
------------	---

<p>構成員</p>	<p>きたわけではないため、加入届を取ることでやりやすい雰囲気になればよいと思う。</p> <p>「PTA に入らなかったらどうなるのか?」とか「PTA に入るメリットは?」という質問をたくさん受ける。それは、PTA が持っている問題点の一つだと思う。PTA というのは成果が見えないものである。子どものためや地域のために頑張るというスローガンは立てるが、成果が1年でなかなか出ない。成果を出すような組織というのは受け入れられやすく、また人も集まりやすいため、そのようになればと思っている。</p> <p>昨年、PTA 連合会が各校を回り、皆さんにお願いしたことがある。「先生の悪口を子どもの前で言わないようにしましょう。そうすると、子どもの学校が安定して、子どもの成績が上がります。だから協力してください。」と言いまわった。その結果、中学生の成績が非常に伸びた。教育長にそのことを聞くと、「学校が安定したからである。それが一番の要因かな。」と言われた。その時に、活動の成果が出たと思った。</p> <p>PTA も活動の成果が表れる何かを課題として持っていなければならないと思うため、幼稚園の意見が非常に参考になった。</p>
<p>構成員</p>	<p>昔、幼稚園数は多かったが、閉園やこども園になり、公立幼稚園は6園と少なくなっている。PTA 連絡協議会の会長になると、県幼Pや阪幼Pに出張しなければならない。県や阪神では幼稚園・こども園PTA 連絡協議会となっているが、川西市のこども園は加入していない。こども園ではクラス代表をたてている園があったり、ボランティアを募って取り組んだりしているところである。幼稚園は園児数がかなり減少しており、PTA 役員のなり手も少ない。川西市の連絡協議会で集まった時には各単位PTA の悩みを共有することができ、「バザーはどのようにしたらよいのか」「夏祭りの運営はどうしているのか」など悩んでいることはみんな同じで、改善案を出し合うことで団結でき、成果を感じているところである。</p> <p>私は役員だけでなく、誰もが参加しやすく、負担を感じず、みんなで親睦を深めることができる見直しをしていこうと話をしており、楽しく盛り上がっている。その中で、地域とのつながりでは、風通しの良い助け合いができたらよいと思っている。幼稚園の時のつながりが、小学校や中学校でも続いていることから、子育てをする仲間、助け合える仲間として幼稚園の時期の活動は非常に大事だと思っている。ただ、園児数の減少と任意加入ということの考え方については、より良い、やりやすい楽しい場になるような見直しができればと思っている。</p>



座長	<p>母親の場合は自分が生まれ育ったところではなく、見知らぬ土地で出産して育てられることが多い。そうした時に幼稚園や PTA で他の母親と仲良くなり、地域での子育てがスタートする。そういったところで PTA は大きな役割を果たしている。</p>
構成員	<p>役員として、先生との関わり方や、子どもたちに何をするのかということは、幼稚園・小学校・中学校でそれぞれ違っていた。</p> <p>中学校の PTA の関わり方が、保護者に非常にわかりにくいと思っている。</p> <p>幼稚園では子どもに対しての手伝いが多く、小学校でも子どもの行事に PTA が関わるが多いため、割とわかりやすいが、中学校になるとほとんどのことを生徒ができるためわかりにくく、役員がどのように関わっているか伝えていかなければならないと感じている。</p> <p>地域の方が子どもたちに非常に関わってもらっている。自分の子どもも地域の中で皆さんに育ててもらっており、子どもたちのために地域とよい関係で活動が続けていくことはとても大切で、いつも感謝しながら地域の方と接していきたいと思っている。</p>
座長	<p>幼、小、中、高、特別支援学校それぞれ PTA があって、それぞれ学校種ごとに性格がかなり違う。PTA といえば小学校というベースで議論が進むが、特別支援学校などでは就労の部分がネックになるなど色々な話があるということをご理解いただければと思う。</p>
構成員	<p>特別支援学校の活動内容は幼稚園とよく似ている。通常校の PTA 連合会に属し、特別支援学校の PTA にも属し、また、阪神・県・全国もある。全国まで行くと宿泊で行くが障がい児を抱えてどのようにして行くのかという問題もある。それでも、私は保護者同士のつながりが非常に強くなり絆も深くなるため、やりたくてやっている。全校を合わせても小学校の 1 クラスに満たない人数で PTA 活動を行っている。その中で、地域との関係を保護者はほとんど持っていないが、学校では持っているため、卒業式などにも地域の方に来てもらい、顔を合わせ、話もするし、阪神間や県の特別支援学校との協力体制もある。</p> <p>PTA の一番大きな仕事は、障がい児の置かれている現状や就労・進路の問題などを市に訴えかけていくことで、他の単位 PTA とは少し違う。</p>

副座長

加入登録・加入届はしているが、これをさらに強めていくと1クラスにも満たない人数の中からどれだけ減って、今まで精査して減らしてきた活動をさらにどれくらい減らしていけるのかというところが問題点ではないかと思っている。

今している改革を少し紹介させていただき、今後の議題のたたき台にさせていただいたらと思う。

1つ目は、PTAの問題が今あるからPTAを変えなければならないというように考えず、学校はもう変わらなくてはならない状況に追い込まれているため、学校も変わらなければならないということである。

教員の働き方改革で、中学校では先生が莫大な時間働いているため、これを直さなければならない。その一方で、特別に配慮を要する子が増え、学力差が非常に拡大し、一人一人の子どもを大切にしなければならないということが要求されている。

この矛盾を学校現場は抱えているため、どのようにしたらよいか考えた時に、保護者に出てきてもらうしかないのではないかと考えた。それをしていたら、気が付けばPTA改革をしていたというのが私の率直な感想である。

PTAほど大事なものはなく、学校運営に参加してもらわないと困る。昨日、終業式があったが、私の学校は神戸市で初めて通知表の所見を無くした。所見を省いた理由は、働き方改革である。5月ごろから保護者と話し合いをし、50人くらいの保護者に毎月学校運営に入ってきてもらい話し合いをしている。他には、保護者からの意見で家庭訪問をなくした。

つまり、保護者がもっと学校運営に入り、学校側が受け止めて、今の課題を解決していく、気付いたらそれが学校改革になっていたということである。

2つ目は、優先順番の1番2番3番とあったが、任意加入の問題については、今のPTA活動のままで、任意加入の届を取るかどうかである。1と3は同時かもしれないと思っている。同時にするとスピード感はある。1番の3つの問題というのは私の感覚ではもう終わった話である。理由は、PTAは任意団体であり、個人情報もきちんとしなければならない、会費の問題というのは絶対駄目であるため、良し悪しの問題ではなく変えなければいけない。ただ、今のPTAに1番の3つの問題をするかを聞くと、活動の継続が困難になってくるため、3番の部分を早急にやるべきだと思う。学校差が若干あってもよいと思う。3の「活動内容の見直し」を頑張っていれば成果が上がるのではないかと思う。

<p>構成員</p>	<p>神戸市では、最近できた学校はみんな PTA が無い。小学校は 160 あるが、1 つだけ PTA を無くした学校がある。実はその学校が私の中学校の校区の小学校である。その保護者は、今私の勤めている学校に上がってきて PTA に入った時に「小学校で PTA があったら良かった」と言う。つまり、PTA のありがたさや大切さをわかってもらっていると私は感じている。PTA の問題は、押しつけられたというより、新しい考え方で学校へ参加するというを考えて議論を進められたらどうかと思う。</p> <p>PTA と自治会が非常に似ていると思った。川西市で加入率が約 50% ぐらいである。川西市では大きな災害が起こっていないため、差し迫って必要性を感じることはないかもしれないが、何かあった場合、自治会という組織が動かなければならない。私のコミュニティには 20 の自治会があるが、自治会長が順番とかでなることが約半分ぐらいある。川西市で加入促進事業をやってもらっているが、一向に成果が上がらない。PTA を何とか立て直していただきたいという思いで一杯である。</p>
<p>副座長</p>	<p>保護者の方に例えば祭りについて、「地域の団体の方が高齢化も進んでおり、子どもが祭りで遊ぶため、みんなで手伝いましょう」という話をするが、PTA に動員がかかると抵抗感がある。だが、保護者も地域住民であり、元々 PTA という考え方ではなく、地域住民として参加しなければならない。私の学校では夏まつりも子ども達が行きたいということから進んでいった。子どもたちがやぐらを組んだり、店の手伝いをしたり、夏祭りに出ていきたいという希望があるということも PTA に投げかけ、子どもたちが言っているため、保護者としても手伝いませんかということである。今まで上から保護者へ伝えていたのを下から上げていくというやり方をすると、案外わかってもらえたりするため、ボトムアップをしていくことも大事かなという気がしている。</p>
<p>座長</p>	<p>時間の方も迫っているが、事務局が提示した(1)(2)(3)の課題については、ほぼ議論が出たのかなと思う。単位 PTA への説明の仕方については、歴史的経緯や地域性があり、工夫が必要ではあるが、何らかの形で(1)(2)(3)については提示してしかるべきであるというところで共通認識ができたのではないかと考えている。</p> <p>次回については、優先順位 2 番目の(4)役員の選出についてが、少し議論に至らなかったということ、副座長から提案があった(5)活動内容のと</p>

	<p>ころで連動してくるかと思うため、(4)(5)を次回、議論を進めていきたいと考えるがどうであろうか。</p>
座長	<p>6. 次回以降の開催について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局から第二回を9月16日の午前10時から、第三回を11月17日午前10時から、第四回を2月1日午後2時から行う旨の報告)</p>
座長	<p>7 その他について、何かあれば発言をお願いしたい。  (特にないため) 第1回川西市PTAあり方検討会を終了する。  次回以降についても、出席及び建設的な意見についてお願いし、会議を終了する。</p>